

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚原発扁平上皮癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Regional lymph node metastasis from cutaneous squamous cell carcinoma	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	SCC-CQ10-6	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID	9604987	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Otolaryngol Head Neck Surg	
	雑誌 ID		
	巻	124	
	号	5	
	ページ	582-7	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1998 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Kraus DH	Memorial Sloan-Kettering Cancer Center
その他著者 1		Carew JF	同上
その他著者 2		Harrison LB	同上
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の8項目	目的	皮膚原発扁平上皮癌で所属リンパ節転移を認める症例の治療成績を検討する。		
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究		
	セッティング	Memorial Sloan-Kettering Cancer Center		
	対象者	皮膚原発扁平上皮癌で領域リンパ節転移を認めた45例 平均年齢：67歳（37-85歳） 原発部位：耳、耳下腺部(35%)、前頭部(26%)、鼻(17%)、その他		
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)		
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)		
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (14)		
	介入（要因曝露）	手術：頸部郭清術（41例）、耳下腺のみ摘出（4例） 放射線療法： 外部照射 36例（34-71 Gy、平均 60 Gy）、組織内照射 5例 放射線療法施行せず 9例		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分	
		1	局所制御	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
		2	生存率	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
		3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	主な結果	45例中 228例が再発 再発部位：8例（局所）、11例（領域リンパ節）、8例（遠隔） 2、5年生存率：33%、22% 頸部リンパ節の病期が最も予後に相関していた。 2年生存率：放射線療法施行群(33%)、非施行群(34%)		
	結論	領域リンパ節転移を来している症例の予後は集学的治療を行っても不良である。術後放射線療法の意義も明らかにできなかった。		
	備考			

	レビューワー氏名	鹿間 直人
レビューワーコメント	レビューワーコメント	レベル I V